

---

# ことば遊びドリル

## Ⅱ 漢字遊び

汎用プリント

にている漢字さがし

音訓まぜまぜ作文

漢字のなぞなぞづくり

漢字の分解作文

部首ばなし(なかまの漢字あつめ)

音読み「かん」ひろい

音読み「ちょう」あつめ

「〇ん〇んことば」の漢字変換

熟語の音返し

熟語でしりとり①

熟語でしりとり②

「〇ん〇ん」しりとりの漢字変換

だんだん熟語①

だんだん熟語②





( )



なまえ

							漢字 <small>かんじ</small>
							読みかた
							作文 <small>さくぶん</small> しましょう
							熟語 <small>じゅくご</small>

にている漢字さがし  
( ) /

なまえ

漢字かんじ

作文さくぶんしましよう


音訓まぜまぜ作文 ( )

なまえ

						漢字 <small>かんじ</small>
						読みかた <small>よみかた</small>
						作文 <small>さくぶん</small> しましょう

# 漢字のなぞなぞづくり

なまえ

---

Q.



こたえ

Q.



こたえ

漢字のなぞなぞを發明しよう。

かんじ ぶんかいさくぶん  
漢字の分解作文

なまえ

---

<div data-bbox="207 542 371 707" style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 85px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="377 562 412 633" style="display: inline-block; vertical-align: middle;">漢字</div> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 600px; margin-top: 10px;"></div>	<div data-bbox="559 542 724 707" style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 85px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="729 562 765 633" style="display: inline-block; vertical-align: middle;">漢字</div> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 600px; margin-top: 10px;"></div>	<div data-bbox="911 542 1075 707" style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 85px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="1081 562 1116 633" style="display: inline-block; vertical-align: middle;">漢字</div> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 600px; margin-top: 10px;"></div>
--	--	---

漢字の形をもとに、分解して作文してみよう。

# 部首ばなし(なかまの漢字あつめ)

なまえ

---


漢字

--	--	--	--	--	--	--

熟語

--	--	--	--	--	--	--

作文

( ) ( ) のつく漢字をあつめよう。  
熟語を書いてから、その漢字をできるだけ多く使った文章を書いてみよう。

# 音読み「かん」ひろい

なまえ

---

(例)

さんかん

参観

「さんかん」のように、後ろに「かん」がつくことばを書き、漢字になおして短い文を書きましょう。

						さんかん
						参観



# 音読み「ちょう」あつめ

なまえ

---

(例)

かいちょう
快調

「かいちょう」のように、後ろに「ちょう」のつくことばを書き、漢字になおして短い文を書きましょう。

						かいちょう
						快調

# 「○ん○んことば」の漢字変換

なまえ

---

(例)

						うんてん
						運転


ひらがなで「○ん○ん」と書けることばをさがして、  
上のらんにひらがなで書き、下のらんに漢字変換してみよう。

# 熟語の音返し

なまえ

(例)

司し会かい

開かい始し

司会が開始をせんげんした。

例のように、二文字の熟語の読みかたをひっくり返して、べつの熟語に変身させよう。  
二つの熟語を使って、こじつけ作文をしてみよう。


# 熟語でしりとりに①

なまえ

---



熟語の漢字をつなげて、しりとりをしよう。  
(熟語は、二文字・三文字・四文字のいずれでもよい。)

# 熟語でしりとり②

なまえ

---


最初と最後の熟語をきめてから、しりとりをしよう。

# 「〇ん〇ん」しりとりの漢字変換

なまえ


ひらがなで「〇ん〇ん」と書けることば(熟語)でしりとりをします。  
下の「〇ん」でつなげます。上のらんにひらがなで書き、下のらんに熟語を書きましよう。

# だんだん<sup>じゆくご</sup>熟語①

なまえ

---


金	金	金	金
		魚	

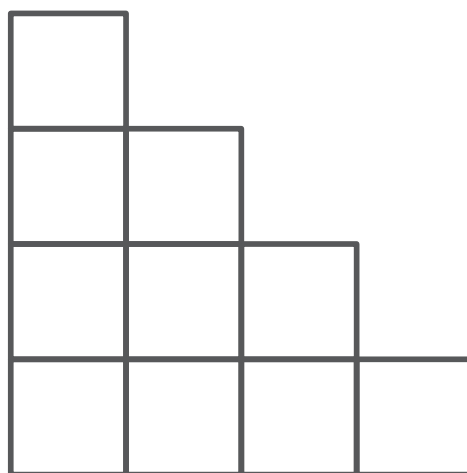
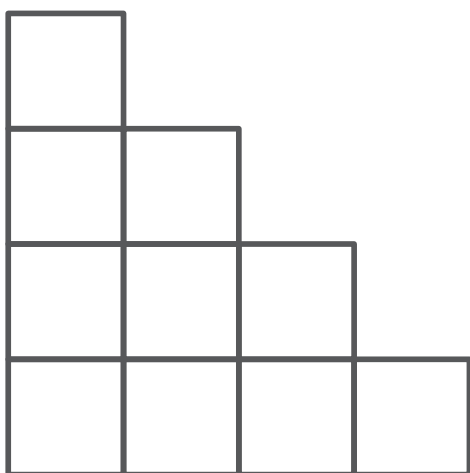
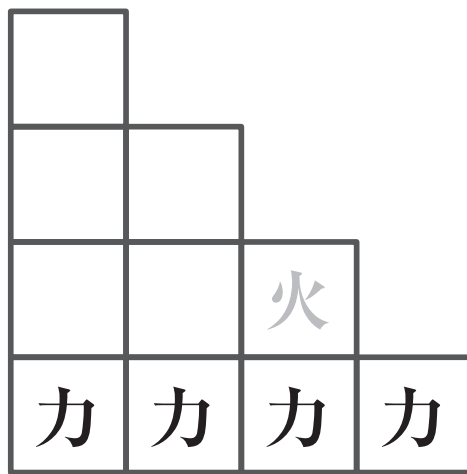
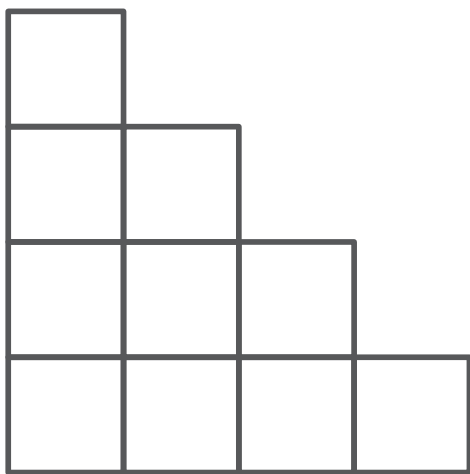


同じ漢字からはじまる熟語を、漢字の数をふやしながら書きましよう。

# だんだん熟語②

なまえ

---



同じ漢字が最後にくる熟語を、漢字の数をふやしながら書きましょう。